

(様式第9)

21医大第17号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 殿

開設者名 公立大学法人福島県立医科大学
理事長 菊地 巨一

公立大学法人福島県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	100.25 人
--------	----------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	303人	145.8人	448.8人	看護業務補助	31人	診療エックス線技師	人
歯科医師	3人	3人	6.0人	理学療法士	8人	臨床検査技師	61人
薬剤師	31人	人	31.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	5人	その他	人
助産師	34人	人	34.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	674人	4.8人	678.8人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	6人	0.9人	6.9人	栄養士	人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	人	事務職員	64人
管理栄養士	6人	人	6.0人	診療放射線技師	38人	その他の職員	38人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	617.8 人	5.4 人	623.2 人
1日当たり平均外来患者数	1,522.3 人	30.4 人	1,552.7 人
1日当たり平均調剤数		850.3 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	5人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	4人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	70人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は带状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリンーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マンツル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性なもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオキシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	10人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	1人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・無	1人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	0人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	3人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	80人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	71人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	24人
・多発性硬化症	39人	・ウエゲナー肉芽腫症	12人
・重症筋無力症	59人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	58人
・全身性エリテマトーデス	179人	・多系統萎縮症	11人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人
・再生不良性貧血	46人	・膿疱性乾癬	5人
・サルコイドーシス	69人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・筋萎縮性側索硬化症	16人	・原発性胆汁性肝硬変	60人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	93人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	62人	・特発性大腿骨頭壊死症	39人
・結節性動脈周囲炎	19人	・混合性結合組織病	26人
・潰瘍性大腸炎	99人	・原発性免疫不全症候群	2人
・大動脈炎症候群	22人	・特発性間質性肺炎	28人
・ビュルガー病	8人	・網膜色素変性症	17人
・天疱瘡	16人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	25人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	28人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	96人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	12人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	66人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月4回程度実施		
剖検の状況	剖検症例数	49例	剖検率 16.3%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Pentraxin 3の心不全発症と進展における役割	竹石恭知	循環器内科	2,080千円	補委 科学研究費補助金基盤研究(C)
酸化LDLによる血管内皮機能不全の分子機構解明に関する研究	杉本浩一	循環器内科	2,730千円	補委 科学研究費補助金若手研究(B)
特発性心筋症に関する調査研究	竹石恭知	循環器内科	300千円	補委 厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
虚血性心臓病に対するhigh mobility group protein 1を用いた新しい血管再生療法の開発	竹石恭知	循環器内科	5,000千円	補委 上原記念生命科学財団 研究奨励金
細胞内脂質代謝と心臓リモデリング: ジアシルグリセロールキナーゼによるGq蛋白共役型受容体シグナルの制御	竹石恭知	循環器内科	3,000千円	補委 武田科学振興財団 2008年度報彰基金 研究奨励継続助成
慢性心不全における睡眠時無呼吸症候群の検索及び治療方法の検討	義久精臣	循環器内科	400千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
正常心および病的心での代謝性冠血流調節機構の解明	金城貴士	循環器内科	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
RAGE (receptor for advanced glycation end products) による動脈硬化巢同定の試み	上北洋徳	循環器内科	490千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
血管内皮機能不全と活性酸素種に対するプラバスタチン静脈内投与の効果とその機序	大河原浩	循環器内科	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
LOX-1 (lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1) を介する単球接着誘導血管内皮細胞機能不全の分子機構解明に関する研究	坂本信雄	循環器内科	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成20年度プロジェクト研究(奨励研究)
難治性の肝胆道疾患に関する調査研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 厚生労働省科学研究費
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	1,400千円	補委 厚生労働省科学研究費
福島市における特定健診と連携した非アルコール性肝炎(NASH)における特異的マーカー検索と疾患感受性遺伝子多型に関する研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	2,000千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学プロジェクト研究
難治性の膝疾患に関する調査研究	入澤篤史	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	260千円	補委 厚生労働省科学研究費
Toll-like receptorを介したサイトメガロウイルス感染による炎症性腸疾患増悪の機序解明	片倉響子	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	2,000千円	補委 文部科学省科学研究費
T細胞非依存性の樹状細胞による大腸炎の抑制	阿部和道	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 浜名湖シンポジウム研究助成
CpGDNA投与による肝線維化の制御についての研究	阿部和道	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学プロジェクト研究
カリウム過剰摂取によるインスリン抵抗性改善作用とその作用機序の解明についての研究	佐藤博亮	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	140万円	補委 財団法人ソルト・サイエンス研究財団

小計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入記すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入記すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入記すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アルドステロン症の心血管合併症と内臓脂肪	緑川早苗	腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	100万円	補委 山口内分泌疾患研究振興協会
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とランダム化比較試験	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	50万円	補委 厚生労働科学研究費
今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病(CKD)の位置付けに関する検討	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	3,100万円	補委 厚生労働科学研究費
進行性腎障害に関する調査研究	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	160万円	補委 厚生労働科学研究費
反復経頭蓋磁気刺激法によるヒト大脳皮質可塑性の機序の解明と治療応用に関する基礎的研究	宇川義一	神経内科	90万円	補委 財団法人磁気健康科学研究振興財団
反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立	宇川義一	神経内科	3,250万円	補委 厚生労働省
ジストニアの疫学、病態、治療に関する研究	宇川義一	神経内科	70万円	補委 厚生労働省
脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究	宇川義一	神経内科	100万円	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究	杉浦嘉泰	神経内科	70万円	補委 厚生労働省
リアルタイムヴァーチャル画像補助下気管支鏡検査における硬さセンサーの有効性の研究	石田 卓	呼吸器内科学講座	1,170千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
気管支喘息の診断、治療判定のための簡便な指標としての簡易な気道炎症マーカーの検出-呼吸NO測定オフライン法のかかりつけ医での応用の可能性	齋藤 純平	呼吸器内科学講座	1,000千円	補委 科学研究費補助費
びまん性肺疾患に関する調査研究	棟方 充	呼吸器内科学講座	800千円	補委 科学研究費補助費
アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立およびその有効性と有害事象の評価に関する研究	棟方 充	呼吸器内科学講座	3,500千円	補委 科学研究費補助費
成人気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践および評価手法に関する調査研究	棟方 充	呼吸器内科学講座	1,300千円	補委 環境再生保全機構
呼吸濃縮液中蛋白の網羅的プロテオーム解析による喫煙関連呼吸器疾患の診断ならびに病態解析手法の開発	棟方 充	呼吸器内科学講座	2,550千円	補委 喫煙科学研究財団
細胞周期を標的とした癌の免疫学的制御の試み	鈴木弘行	旧第一外科	1,000千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
若年発症Ⅰ型糖尿病に対する膵島移植-成長と膵島再生の機能連鎖	伊勢一哉	旧第一外科	1,400千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
若年発症Ⅰ型糖尿病に対する膵島移植-ティッシュエンジニアリングの利用	山下方俊	旧第一外科	1,500千円	補委 日本学術振興会 科学研究費

小計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膵癌の治療抵抗性に関する樹状細胞を中心とした細胞性免疫学的検討	見城 明	旧第一外科	1,500千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
BRMによる樹状細胞の機能修飾を用いた癌治療の試み	星野実加	旧第一外科	2,400千円	補委 文部科学省 科学研究費
探索医療の成果としての膵島移植医療の確立	後藤満一	旧第一外科	8,700千円	補委 厚生労働省 科学研究費
膵島移植の臨床応用	後藤満一	旧第一外科	10,000千円 (19-20 2か年)	補委 福島県立医科大学 研究支援事業
生体肝移植における抗CD25モノクロナール抗体による免疫抑制の試み	斎藤拓朗	旧第一外科	2,000千円 (20-21 2か年)	補委 福島県立医科大学 研究支援事業
「乳癌におけるリンパ管新生と乳房リンパ管の3次元病理解析」	安田 満彦	器官制御外科	900千円	補委 科学研究費萌芽研究
「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/遺伝子発現解析技術を活用した個別がん医療の実現と抗がん剤開発の加速」	大竹 徹	器官制御外科	49,921千円	補委 新エネルギー産業 技術総合開発機構 (NEDO)
「DNAトポイソメラーゼ I の転写制御の機序とイリノテカン感受性の検討」	小山 善久	器官制御外科	1,300千円	補委 科学研究費基盤研究C
「サーカディアンリズムを利用した新たな癌放射線療法の確立」	岩館 学	器官制御外科	1,300千円	補委 科学研究費若手研究B
心拍動下手術における3次元デジタル解析システムを用いた手術野固定法の改良	横山 斉	心臓血管外科学講座	1,430千円	補委 独立行政法人日本 学術振興会
虚血性疾患に対する自己骨髄単核球細胞移植における、単核球活性化手法の安全性と有用性検証のための実	高瀬信弥	心臓血管外科学講座	1,000千円	補委 公立大学法人福島県 立医科大学プロジェ クト研究
心拍動下手術における『外科的難易度』決定因子の解明	佐藤善之	心臓血管外科学講座	500千円	補委 公立大学法人福島県 立医科大学プロジェ クト研究
ポストゲノム時代における良性脳腫瘍のエピジェネティクス・バイオマーカーの開発	齋藤 清	脳神経外科	2,000千円	補委 文部科学省科学研 究費
神経皮膚症候群に関する調査研究	齋藤 清	脳神経外科	1,000千円	補委 厚生労働省科学研 究費
インフルエンザ脳症の病態モデルの作成と、その増悪及び改善因子の検討	細矢 光亮	小児科	1,300千円	補委 日本学術振興会科 学研究費
急性脳炎・脳症の病態解明及びそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	細矢 光亮	小児科	1,500千円	補委 日本学術振興会科 学研究費
腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割と再生促進因子の解明	川崎 幸彦	小児科	1,950千円	補委 日本学術振興会科 学研究費
SOCS遺伝子抑制によるRSV感染症の新たな治療法確立の検討	橋本 浩一	小児科	780千円	補委 日本学術振興会科 学研究費

小計 18

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Heart Failure Reviews 13 (2), 181-191, 2008	Intervention for apoptosis in cardiomyopathy	矢尾板裕幸	循環器内科
Journal of American Society of Echocardiography 21 (6), 689-696, 2008	Optimal noninvasive assessment of diastolic heart failure in patients with atrial fibrillation: comparison of tissue Doppler	渡部朋幸	循環器内科
Journal of Cardiac Failure 14 (7), 627-628, 2008	Pentosidine and soluble receptor for advanced glycation end-product are important prognostic factors independent of renal	竹石恭知	循環器内科
Circulation Journal 72 (12), 2081-2086, 2008	Attenuation of cardioprotective effect by postconditioning in coronary stenosed rat heart and its restoration by carvedilol	及川雅啓	循環器内科
Frontiers in Bioscience 14, 2553-2558, 2009	Role of Toll-like receptor mediated signaling pathway in ischemic heart	竹石恭知	循環器内科
American Journal of Physiology (Heart and Circulatory Physiology)	Regulation of coronary vascular tone via redox modulation in the α 1-adrenergic-angiotensin-endothelin axis the myocardium	山口 修	循環器内科
International Heart Journal 50 (2), 247-257, 2009	Mast cells contribute to flow restoration by bone marrow cell transplantation in rats with ischemic limbs	田島浩子	循環器内科
心臓 41 (3), 347-351, 2009 (平成21年3月)	チェーンストーク呼吸を合併した拡張相肥大型心筋症に対しadaptive servo ventilationが奏功した1例	義久精臣	循環器内科
日本内科学会雑誌 98 (1), 141-143, 2009	凝固異常・消化器症状を呈したsystemic mastocytosis	小川一英	血液内科
Gastrointest Endosc	Basic technique of FNA	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
World J Gastroenterol	Development of autoimmune hepatitis type 1 after pulsed methylprednisolone therapy for multiple sclerosis: a case report	高橋敦史	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Endoscopy	EUS for portal hypertension: a comprehensive and critical appraisal of clinical and experimental indications	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Hepatol Res	The efficacy of ursodeoxycholic acid and bezafibrate combination therapy for primary biliary cirrhosis: A prospective, multicenter	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Yonsei Med J	Primary adenocarcinoma of the minor duodenal papilla	若槻 尊	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
JOP	Pancreatic lipoma diagnosed using EUS-FNA. A case report	鈴木 玲	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
Gastroenterol Endosc	食道静脈瘤硬化療法における教育プログラムの提案	若槻 尊	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
肝臓	日本人PBC患者におけるFisk Fatigue Severity Score (FFSS)日本語版の妥当性の検証	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座
J Clin Hypertens (Greenwich). 2009	Gaps between hypertension treatment guidelines and clinical practice in Japan: Baseline survey results from Fukushima	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Clin Exp Nephrol. 2009 Jun 11.	Prevalence of chronic kidney disease in the Japanese general population.	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Am J Physiol Renal Physiol. 2009 May;296(5):F1052-60.	Angiotensin II type 1 receptor blocker attenuates the activation of ERK and NADPH oxidase by mechanical strain in mesangial	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Hypertens Res. 2008 Jul;31(7):1455-64.	Effects of decreased renal cortical expression of G protein-coupled receptor kinase 4 and angiotensin type 1 receptors in	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Clin Exp Nephrol. 2008 Dec;12(6):485-8.	Lupus nephritis with podocytic infolding and intramembranous microstructures.	渡辺 毅	腎臓高血圧症・糖尿病代謝内科学講座
Acta Neurol Scand	A case of bilateral parietal cortical laminar necrosis with a loss of vertiginous sensation	Sugiura Y	神経内科
Int Med	Heart rate variability and hypercapnia in Duchenne muscular dystrophy	Mochizuki H	神経内科
Acta Neurol Scand	Paired stimulation study of the median nerve sensory action potential in diabetic patients	Nakatani-Enmoto S	神経内科
Int Med	Metal Retardation and Lifetime Events of Duchenne Muscular Dystrophy in Japan	Mochizuki H	神経内科
Acta Neurol Scand	A Case of bilateral parietal cortical laminar necrosis with a loss of vertiginous sensation	Sugiura Y	神経内科
神経内科	Congenital bilateral perisylvian syndromeの成人軽症例	松田 希	神経内科
臨床神経学	持続性部分てんかん、律動性ミオクローヌスが持続した抗グルタミン酸受容体抗体陽性の自己免疫性脳炎に関して	宇川義一	神経内科
Medical Practice	頸性めまい	望月仁志	神経内科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入するこ